



第36号2016年多摩

俊風会 NEWS

おおさか維新の会 伊藤しゅんすけ Shunsuke Ito

〒194-0021 町田市中町 2-6-11 サワダビル3F
TEL 042-723-0117 FAX 042-729-7935
〒206-0002 多摩市一ノ宮 4-1-1 N2ビル 2F
TEL 042-375-5500 FAX 042-375-3873

Homepage <http://www.i-shunsuke.com>
Mail officeshunsuke2012@gmail.com
Twitter http://twitter.com/shunsuke_ishin
FB <http://www.facebook.com/shunsuke.ishin>



増税の前に身を切る改革を！

今、軽減税率が話題になっていますが、そもそもいま、消費税を10%に増税する事が日本の景気・経済にとって必要なのでしょうか。まずは、身を切る改革、国の統治機構改革を含めて、これまで出来なかった赤字体質の日本の根本的構造を変えることこそしない限り、更に将来もっと大きな増税を国民は強いられる事になります。何故大阪が過去11年連続赤字であったのに僅か4年間で橋下・松井の2人のリーダーによって黒字に転換できたかを私達は検証すべきです。

町田・多摩の事務
所にもお気軽にお
立ち寄り下さい！



昨年末、大阪府知事・市長選挙にて、「大阪維新の会」対「自民・共産・民主の連合」という前代未聞の戦いに、多くの方々のご期待とご支持を頂き、勝利することができました。これは決して一地方で起きたことではなく、これからの日本の行く末を大きく変える第一歩を踏み出したと言えます。大阪で進めてきた維新の改革は、国民に負担を求める前に、徹底的に政治家や役所が身を切る改革を実行し、捨て身で挑戦し続けてきました。大阪府民・市民は、まさにこのことを評価されたのだと思います。

～大阪はどんな身を切る改革をしてきたか～

- ① 市長自らの報酬 42%カット、退職金はゼロ
- ② 府議会定数 20%削減(報酬15%カット)
- ③ 府議報酬 30%カット実現
- ④ 市の職員 30%削減(6152人削減)
- ⑤ 赤字だった市バス運転手給与 960万円を引下げる等単年度26億の赤字を→10億黒字とした
- ⑥ 天下り先だった外部団体を 72 団体→18 団体
- ⑦ 競争性のない随意契約を一掃
決算ベースで黒字財政を実現 等々

～維新は今～

- ※他党は反対をしてやらない改革です。
- (A) 国会議員年間 1200 万円の文書通信交通滞在費の用途公開を実行しています。
(領収書なし報告なし税金なしの国会議員歳費)
- (B) 企業・団体献金を禁止
「政治とお金」の問題を根幹から改革。
しがらみのない政治へ。

身を切る改革を大阪からオール日本へ。— 国政では、自民党も民主党も選挙

のたびに議員定数を減らすと言いながらも、事実上、1人も減らせなかった。その上、東日本大震災の復興もままならないのに、国会議員1人あたり月額26万円の給与を上げ、国家公務員総人件費も約4000億円以上も上げた。それでいながら国民には増税負担を押し付けてきました。そんな自ら身を切る覚悟すらない政治家や既成政党に、赤字国債1060兆円を越える「財政再建」、権限や財源を地方に移譲する「地方分権(道州制)」、「公務員制度改革」等、出来るとは到底考えられません。私は、それぞれの地方が独立性をもって切磋琢磨し日本全体を底上げしていく維新の考えや、退路を断って突き進む有言実行の橋下代表率いる維新に賛同して行動してきました。私自身迷いなく「おおさか維新の会」に所属をし、大阪で成し得てきたこの改革を日本全体に広げるべく全力を尽くして参ります。

“なんとなく自民党に任せておけばいい”時代は終わった— 「安保法制」や「原発再稼働」など、体を張って止める信念のある政治家はいなくなりました。「原発」は、未だ最終処分場も方法も決められず、安全でもなく安価でもない。民間の技術で新しい産業を育て、再生可能エネルギー

ギー(ドイツ 20%に対し日本は僅かに 2.2%)など、原発に依存をしない新しいエネルギー環境を実現して、世界をリードすべきです。また、「安保法制」集団的自衛権の行使など含めた憲法改正の議論を正々堂々とすべきです。引き続き、間違った紛争や戦争に巻き込まれないように声を上げて参ります。

2050年を見据えて、今。— 2050年、やがて世界人口は、90億人を超えます。その時、

日本人口は、現在の1億2800万人から9700万人と3割以上も減少します。高齢化率(65歳以上)が40%、2.5人で1人を支える時代になります。現在、生活保護受給者が約200万人になり、介護離職者が10万人を越え、子供の相対貧困率は、過去最悪の16.3%、6人に1人が貧困です。確実に所得格差が広がっている現状です。現行の社会保障制度が設計されたのは1960年代の人口が増え続けている、最も元気な時代。時代に合わなくなった諸制度を見直し、もう一度、格差の広がらない成長戦略を進めるべきです。保育や幼児教育、高校の無償化など、特に若い世代に思い切って投資をして、未来の社会保障を支える仕組みを作るべきです。

・年金制度を賦課方式から時代にあった積立方式(自分で納めたものを自分で受け取る)へ

人口が増え続ける時代に作った年金(賦課方式)制度は、少子高齢化や人口減少に対応できず、すでに破綻しているといっても過言ではありません。今、30代の方々は、納める年金よりももらう年金は、約マイナス1700万円に、20代の方々は、約マイナス2400万円になると言われています。

・明治以来 140年続いてきた「中央集権国家」から「地方分権」へ(道州制等)統治機構改革を実現。

地方交付税交付金を廃止して消費税を地方税化。道州制、首相公選制、衆参一院制実現。 etc

・多摩市を日本一の環境先進都市へ。団地の空室対策と住みやすい団地へ。

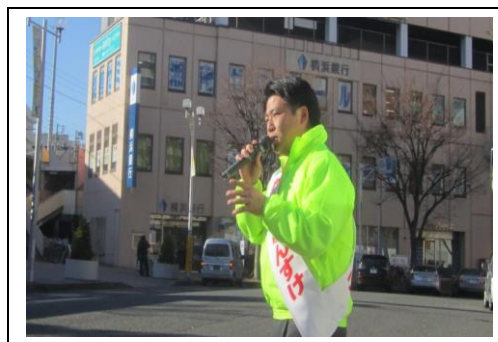
多摩版

環境特別区として緑化など徹底した新エネと省エネで日本一の環境先進都市へ。団地はこれまでのように定期的に家賃値上げをしない。エレベーターのない団地のバリアフリー化。空室はハウスシェアリングや高齢者や障がい者の方々、留学生や外国人滞在者なども住みやすい環境整備。

・物を売る街から時間を売る街へ。

多摩センター駅前パルテノン広場、永山駅前広場、桜ヶ丘駅前ビータ広場などのオープンスペースを活用し、日本中や世界からの大道芸人などパフォーマー呼び、通年エンターテイメントの街へ。

・多摩市もオリンピックの舞台になります。— 自転車競技は、皇居前をスタートし、多摩市は連光寺に入り、連光寺坂を下り、多摩ニュータウン通りを右折して関戸橋を渡り、甲州街道に入り右折して稲城大橋に入るコースを男子は16周、女子は7周し最後は武蔵野の森公園でゴールする予定です。多摩市を思いきった自転車道路のいき届いた街へ。



- ・1979年8月5日 町田市生 町田市在住
- ・富士幼稚園卒 ・桐蔭学園小・中・高・大卒
- ・中国北京大学留学
- ・中央大学経済学部国際経済学科卒業
- ・会社起業経営 ・維新政治塾一期生卒

伊藤しゅんすけプロフィール

第46回衆議院議員選挙に立候補 東京比例次点。
第47回衆議院議員選挙に立候補(50,836票)東京比例次点。
再び挑戦を続ける!

皆様のお声を是非お聞かせください。返信 FAX は 042-729-7935 までお願い致します。

ご氏名:
ご住所:

TEL:

MAIL:

FAX: